

普及現地情報

津奈木町での樹園地集積が前進（芦北）

当地域の基幹作物である果樹は、園地が分散して、基盤整備が遅れているため、園地集積等が課題です。このため、農業普及・振興課では、津奈木町樹園地集積モデル地区において、町、JA等と一体となって活動を支援しています。

当地区では、平成31年2月に将来に渡って産地を担うJA果樹青年部員が中心となって、営農改善組合を設立しました。その後、営農改善組合と関係機関で、農地GISを活用して推進地区を検討した結果、比較的緩傾斜地があり、受け手となる担い手もいる犬瀬地区に絞込みました。

6月5日に犬瀬地区の耕作者を対象に集落説明会を開催し、樹園地集積の必要性等と呼びかけるとともに、将来の耕作意向等をアンケート調査しました。

また、7月8日には、このアンケート結果を色分けした地図を提示して、園地集積や基盤整備について意見交換しました。

当課では、今年度中の樹園地集積計画の策定と小規模基盤整備モデル園の整備に向けて、関係機関とともに支援していきます。



営農改善組合役員会での推進会議



犬瀬地区果樹農家を対象とした説明会

種類：③普及活動（途中経過）

関連する普及課題名：

JA農業参入を核とした次世代に繋ぐ地域基盤づくり

HP掲載可否：可

連絡先

県南広域本部芦北地域振興局 農業普及・振興課

園芸産地づくり支援班 春崎 聖一